

パブリックコメントの実施結果

案 件 名：大阪狭山市空家等対策計画（素案）

募集期間：平成31年1月25日（金）から2月12日（火）まで

意見者数：1名

意見の数：1件

意見の要旨	市の考え方（案）
とても細かなデータ分析（現地調査・意向調査）で、カテゴリ別の数字や図、グラフで明記されており、空家の状況がよく理解でき、また、問題に対する基本方針や具体的施策も実情に合わせた内容と評価する。 （空家が）これ程社会問題になっているのに解決の方向にむかわないのは、不動産業者にとって空家はビジネスとしては魅力がなく、市場の活性化に結びつかない。空家所有者・行政が、能動的に活動しないと空家は増加する一方である。 市の実情に合わせた市民目線で意見を提案する。 【提案①】 空家対策セミナーを定期開催 空家問題も対象者・意向・場所・物件により、関心や有効施策も異なる。カテゴリ別に定期的（2ヶ月に一度）に開催することを提案する。また、繰返しセミナーを開催することで参加者へのヒント、市民の意識・知識向上を図る。 カテゴリ：①売買希望 ②賃貸希望 ③維持希望 ④一戸建て ⑤マンション ⑥長屋・倉庫 ⑦狭山ニュータウン（南中学校区）⑧高野線沿線（狭山中学・第三中学校区）	・大阪狭山市空家等対策計画（素案）に対し評価いただきありがとうございます。 ・今後は本計画に基づき空家等対策を実施してまいります。 空家対策セミナーを定期開催について 提案いただいたご意見は、空家等に関するセミナーの実施にあたって参考にさせていただきます。

【提案②】 イベント民泊

民泊はネガティブなイメージがあるが、正しく
 手続、運営、周囲の理解があれば空家対策には有
 効な手段であり、期日限定のイベント民泊制度を
 活用する。

ターゲット： 高野山に立ち寄る外国人

期 間： 8 月 1 日 前後 3 日（PL 花火）

規 模： 限定 10 軒 マンション 1 室（1 ～
 2 名） 一戸建（3 名以上）

宿泊費： マンション 1 万円

一戸建て 1 万 5 千円

運 営： 世話人（学生ボランティア×2 名）/1 組

目 的： 民泊の正しい理解と認知、市の魅力発
 信、若者の国際交流

【提案③】 移住者促進 ブランディング

どんなにすばらしい講習や大変有効な補助等
 の施策を講じても、移住希望者が増加しないと問
 題解決しない。施策と同時に移住促進ブランディ
 ング（特に狭山ニュータウン 子育て世代）を更に
 進める必要がある。

■ 移住者向け大阪狭山市の魅力紹介動画のシリ
 ーズ化

- ・今は動画の時代であり移住希望者がワクワク・
 安心するような動画の作成・発信が有効。
- ・市の魅力の幾つかにスポット（子育て・スポー
 ツ・自然環境・地域活動）を当て定期的（半年
 に一度）に動画で情報発信。
- ・予算をかけず、子育て世代が共感できるような、
 人により沿った等身大のコンテンツが移住者
 促進には有効と考える。
- ・制作するだけでなく、動画を拡散する仕組み
 が必要。

イベント民泊について

空家を地域に存する貴重なストックとして
 捉え、地域の課題に応じた利活用の促進をする
 仕組みについて検討をしてみたい。

移住者促進 ブランディングについて

ご提案いただきました、移住促進ブランディ
 ングの推進や市の魅力発信につきましては、今
 後、市として移住促進に関する取組みを行うに
 あたり参考とさせていただきます。